

おかなんみ



OKANAMI
vol.72
2024/10

頑張って、は実は難しい言葉

副院長 家村 順三

総合診療はじめました!

救急医療体制をリハビリの力で支えます!

未来の医療者をめざす君へ～夏休み医療体験イベント～

頑張って、は実は難しい言葉

副院長 家村 順三

知人が悪性腫瘍を患い、化学療法、手術、放射線療法、ホルモン療法とフルコースの治療となった。治療途上に本人からその事を聞いて、頑張ってな、と声を掛けたら、想定外の返答を得た。頑張ってとはもう言わないでほしい。今でもいっぱいいいっぱいで頑張っているので、これ以上言われてもつらいだけなんですよ、と。私には実感できないつらさが当人にはあるだろうし、そういうふうに感じることもあるのか、という程度にしか思わなかった。時を経ず偶然にネット上で、ある教授が若い医師向けに書いた記事に「頑張って」についての記載があるのを見つけた。

いわく、神戸の大震災で家も家族も、何もかも失ってしまった人にとって、一番つらい言葉はボランティアを含む周囲の人からかけられる「がんばって」だったという。精一杯がんばり尽くしている人が、これ以上どうやってがんばればいいのか。同じことは癌や進行性疾患末期の患者さんにも言える。医療者が気楽に使う、頑張って、の一言で、患者さんがいかに傷つくか。そのことに気づく医者になってほしい、といった内容だった。

うつ病の人に「頑張って」、は禁句であることは医療者ならだれでもみんな知っているが、精神疾患を患っていない人でも同様につらく感じることがあることに、あまり注意が及んでいなかつた。何十年も医療を行ってきたのに、初学者

が学ぶべき配慮にこの齢になって欠けていたのは、我ながら情けない。病院では自分と同じように多くのスタッフが、親切心や激励のつもりで、しかし軽くあいさつ代わりのように、がんばってと言ってしまっているのではないか。おはようやこんにちは、調子はどうですか、と同じくらい気楽に使っているように思う。

そのことが今回のテーマのつもりと広報誌の編集者Sさんに話すと、ではどう言つたらいいのかの正解が欲しいですね、とアドバイスされた。頑張っての代わりにどう言葉をかけたらいいのか。語彙に乏しく、なかなか適切な言葉が浮んでこない。この原稿を書きつつも、病棟や外来ではつい口にしてしまう。頑張ってが、いかに簡単で使いやすい言葉か、あらためて実感した。結局のところ、それぞれの相手の状況をよく理解して、その人に合った言葉をかけて激励するしかない。そもそも激励していいのかどうかも見極める必要がある。しかし、コミュニケーションはなかなかに難しい。セクハラ言葉やパワハラ言葉と同様、「受け取る側の気持ちを汲んで、慎重に言葉を選ぶべき」という、ありきたりな答えしか思いつかないのは、じつに歯がゆくてもどかしい。



● 岡波総合病院の理念 ●

人々の健康と幸せのために、『人間としての愛』の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

● 岡波総合病院の基本方針 ●

1. 私達は、「至誠・注意・満足」の院是の基に、患者様と信頼を共有できるように心の通じた医療サービスを実践いたします。
1. 私達は、医療水準の日々向上をめざし、高度適正な医療を実践いたします。
1. 私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
1. 私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

● 患者様の権利 ●

1. 患者様は、だれでも良質な医療を公平に受けることができます。
1. 患者様は、病気・検査・治療などについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報をうけることができます。
1. 患者様は、十分な説明と情報提供を基に治療方法などを自らの意思で選択することができます。また別の医師の意見を求める也可以ます。
1. 患者様は、自分の診療記録の開示を所定の手続きを経て求めることができます。
1. 患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護されます。
1. 患者様は、健全で良質な医療水準を確保するため医療サービスについて提言することができます。

総合診療はじめました！

暑さも弱まる頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？岡波総合病院は新病院移転からもうすぐ2年が経過しようとしています。

岡波総合病院は、伊賀、名張、周辺地域の住民みなさん、開業医先生やその他病院の諸先生方との信頼関係のもと成り立っていると考えていますので、新病院移転に伴い、その関係を損なわぬことに微力ながら注力してきました。

さて、新病院移転後の1-2年間、大変忙しく、目まぐるしい日々でした。その間、自身が専門としてきた循環器内科の領域では、大動脈弁狭窄症に対するTAVIをはじめとしたストラクチャーインターベンションという新しい分野が大きくすすんでいるようです。そして大学病院とともに研鑽をつんできた同世代の同僚たちの中にも、その新領域に飛び込んでいくものもいるようです。

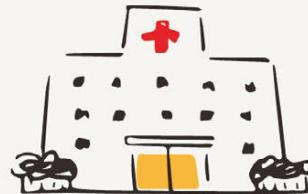
一方、伊賀、名張は、全国でも先駆けて高齢化のすすんでいる地域といえます。循環器内科の分野では、高齢化にともない、医療機関で抱えきれない多くの心不全患者さんが発生すると言われており、心不全パンデミックとも称されています。ただ、その実、心臓疾患のみの検査治療に終始する患者さんは多くはなく、感染症や悪性疾患をはじめ、他の専門領域にまたがった疾患があり、心不全の発症やその治療において、少なからぬ影響を及ぼしていることが多いのが現状です。また、疾患のみならず、独居、老々介護などの生活、支援環境の問題など、それに関連して、なんでも最大限の専門的な治療をうけたいわけではないご意向をもった患者さんもおられます。

総合診療科部長 石瀬 卓郎

そういった様々な背景をもつ患者さんに対応して、専門領域を絞らずに幅広い対応をおこなうことができる総合診療という分野はこういった地域にこそ必要ではないかと考えていました。一般的な内科疾患にとどまらず、最近では、高度な教育機関で体系だった訓練を受けた若い先生たちが、複雑な疾患にたいしても、専門科に頼らずとも診断、治療し、必要に応じて専門科に紹介するといったとても秀逸な診察をされている様子を見聞きします。

医師人生の折り返しを過ぎた今、循環器内科の新しい分野へは踏み出せず、また、総合診療医として修練を積んできた若い先生方と真っ向太刀打ちできるとは考えていません。そこで循環器内科を得意分野としながら、内科領域を広く、また、地域の実情、需要にあった分野を深堀した診察や訪問診療や往診など病診連携の分野を勉強していくらと 생각しています。そして、自身の医師としての仕事以外の充実も診療に影響すると考えますので、この地域や自分にあった一般の概念と違う総合診療をかたちづくれたらいいのになと考えております。

大変道が険しいことは理解しています。まさに、伊賀、名張、周辺地域の住民のみなさん、開業医先生やその他病院の諸先生方との関係構築なしには成り立たない仕事だと考えていますので、ご支援、ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願い致します。



■新任医師紹介



菰渕萌 医師 整形外科

整形外科専門医

令和6年7月1日 入職

伊賀地域の医療に少しでも貢献
できれば幸いです。

■入職

循環器内科 浅田宣孝 医師 令和6年10月1日付

消化器内科 中 貴史 医師 令和6年10月1日付

■退職

内科 加島江美子医師 令和6年9月30日付
(10月1日～非常勤となります)



救急医療体制をリハビリの力で支えます！

リハビリテーション科 技師長 山内 雅之

私たちリハビリテーション科では伊賀・名張周辺地域の救急医療を支える当院の役割において、入院された患者様が少しでも安心・安全にもとの生活に戻れるよう支援しています。



■ 入院患者様への高い介入率

緊急入院された方や術後間もない方であっても、必要以上に安静にしているとすぐに全身の筋力低下や心肺機能の低下を起こし、「立って歩くことが出来ない」「体を起こしているだけでしんどい」といういわゆる「廃用症候群」という状態に陥ってしまいます。リハビリテーション科では専門の療法士たちが、可能な限り早期から介入することで、その状態を予防、改善させていただいている。

当院の入院患者様におけるリハビリ介入割合は47.5%で2人に1人はリハビリを受けていることになります。

■ 回復期リハビリテーション病棟

重点的にリハビリが必要な方は回復期リハビリテーション病棟へ転棟^{※1}されます。当病棟では365日リハビリを提供しており、それぞれの患者様に対して1日に2～3時間程度の個別リハビリテーションを提供しています。

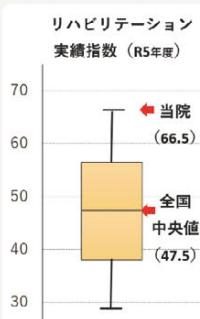
※1：回復期リハビリ病棟への入院する対象者は、厚生労働省が疾患や入院期間を定めており専門的な医師の診断が必要です。

回復期リハビリテーション病棟
在宅復帰率
※R5年度

当院 86% 全国平均 78.4%

■ リハビリ実績

「リハビリテーション実績指数」は、リハビリを提供したことにより入院期間中にどれだけ日常生活能力が改善したかを点数で表した指標のことです。つまり全国の回復期リハビリテーション病棟が共通して使用している成績表のようなものです。全国の病院が共通の計算方法で算出し、点数で表記されます。当院のリハビリ実績指数は66.5点と、全国中央値の47.5点を大きく上回っています。また、在宅復帰率も86%を達成しており、全国平均と比較しても「早く良くして家に帰れる割合が高い病棟」であることが、数値としても示されています。



■ 退院後の支援

退院後、患者様の中には身体の状態が元の環境に適応できるまでに時間がかかることもあります。また、退院あたり、必要な在宅サービス等の検討や引継ぎがうまくいっていない場合も同様です。退院後に機能低下を起こし、病院内では歩いていたのに家に帰ったとたんに車いす生活になってしまふといったケースもしばしば見受けられます。当法人ではそういう方をフォローするために「通所リハビリ」や「訪問リハビリ」の体制も整えており、安心して在宅生活へ戻れるよう支援させていただいている。

これらの実績・体制は当然リハビリテーション科だけのものではなく、医師をはじめとした各スタッフの協力の上に成り立つものです。これからもリハビリテーション科スタッフ一丸となり、「チーム岡波」の一員として伊賀・名張周辺地域の医療を共に支えるべく、日々の研鑽に努めて参ります。



未来の医療者をめざす君へ～夏休み医療体験イベント～

8月7日(水)

おかなみオープンホスピタル
高校生33名が参加

8月18日(日)

伊賀青年会議所主催「伊賀こども職業体験博イガザニア2024」に出展。伊賀市内小学生30名が参加





三重県唯一の診療放射線技師 「臨床実習指導施設」に認定

当院放射線部が、三重県初となる「臨床実習指導施設※」に認定されました。

放射線部には、厳しい認定試験に合格した3名の臨床実習指導教員が在籍しており、学生実習では実践型の教育を目指し医療安全や感染対策、患者接遇なども学ぶことにより、即戦力となる技師の養成を行っています。

※臨床実習指導施設とは、診療放射線技師の臨床実習指導に関する一定の知識と技術、指導実績を有する施設として日本診療放射線技師会が認定する施設です。



デイセンター1日のようにすをご紹介

定期的にカンファレンスやリハビリテーション会議を開催し、身体状況やリハビリの様子などを多職種で情報共有しています。リハビリのみの短時間利用もあります。ご利用ご希望の方は、デイセンター（☎0595-24-4316）までご連絡ください。



午前



にんにん体操やレクリエーション



リハビリ(個々に合わせたプランを組み立てます)



みんなでボールを使って集団体操

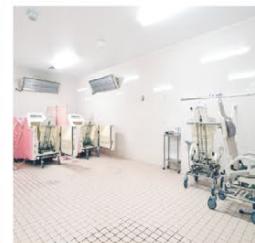
午後



昼食



お身体の状態に応じた入浴ケア



塗り絵や間違い探しなどの余暇活動

連携登録医紹介

連携登録医のご紹介

岡波総合病院では、地域の先生方との連携を密にし、効率的な医療の提供を目的とした「連携登録医」制度を実施しています。比較的病状が安定された患者様につきましては、医療の役割分担を目的に地域の「連携登録医」(かかりつけ医)への紹介を推進しています。



グリーンスウォード ますだ呼吸器科クリニック

平成28年6月より、名張市で内科・呼吸器内科として診療しています。高血圧・脂質異常症・糖尿病など、呼吸器は気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患、肺炎・気管支炎などの呼吸器感染症、胸部異常陰影の精査、呼吸器症状(咳・痰・息切れなど)の検査・治療をしています。当院での検査・治療が困難な時や急を要する場合は、岡波総合病院に適宜紹介しています。今後とも宜しくお願ひ致します。

医師名 増田大介
住所 〒518-0445 名張市瀬古口341番地3
TEL 0595-41-2277
FAX 0595-41-2278

診療科目 内科・呼吸器内科
診療時間 月・火・水・金 9:00~12:00, 16:00~19:00
木・土 9:00~12:00
休診日 木曜、土曜の午後・日曜・祝日



亀井歯科医院

当院は昭和59年の開業以来、予防歯科として地域の皆様のお口の健康に携わって参りました。8020の表彰される方も多く4世代に渡って通院されているご家族もおられます。歯科口腔外科の難症例は岡波総合病院と連携させて頂いております。今後も「お口の健康は全身の健康」をモットーに、患者様が生涯美味しく食事をされてより良い人生を送れるようスタッフ一同全力でお手伝いさせていただきます。

医師名 亀井正明・亀井千登勢・太田仁
住所 〒518-0435 名張市つづじが丘北5番町75番地
TEL 0595-68-0760 FAX 0595-41-0080

診療科目 一般歯科・口腔外科・小児歯科
診療時間 9:00~12:30, 14:30~18:30
休診日 祝日・隔週日曜



藤本産婦人科

当院は、名張駅から徒歩5分のところで診察しております。思春期～老年期と幅広い年齢層の方にお越しいただき、親しみやすくどんなことでも話しやすい雰囲気作りをモットーとしています。地域の専門医や基幹病院と連携をとりながら、皆様の健康を守り、安心して医療を受けられるよう努めてまいります。

医師名 藤本和子
住所 〒518-0713 名張市平尾3068-9
TEL 0595-63-0995
FAX 0595-63-3295

診療科目 産科 婦人科
診療時間 月・火・金 10:00~12:30, 14:30~18:30, 水 14:30~18:30
木 9:00~12:00, 土 9:00~13:00
休診日 水曜の午前・第1木曜・木曜、土曜の午後・日曜・祝日



アクアクリニック伊賀

アクアクリニック伊賀美容部門 So BEAUTYです。整形外科と内科にプラスして今年2024年4月8日より美容部門をオープン致しました。お客様のお悩みに寄り添い、美しくなるお手伝いができるように日々研鑽してまいります。今後も様々な施術を増やしていくと考えております。伊賀できれいになりたいと思ったら一番に当院が出てくるように頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

医師 藤森聰

医師名 藤森健次・藤森由佳子・藤森聰
住所 〒518-0873 伊賀市上野丸之内10-8
TEL 0595-21-6500
FAX 0595-24-6181

診療科目 整形外科・内科・美容皮膚科
診療時間 月・火・水・金8:30~12:00, 15:00~18:00,
木8:30~12:00, 美容皮膚科 月・水・金・土9:30~17:00
休診日 木曜の午後・日曜・祝日

病院で働く看護補助者は、チーム医療の一員としてとても大きな存在です。当院で活躍しているお1人をご紹介します。



介護職として働くことの幸せ

5東病棟看護助手(ケアワーカー) 藤田 奈由美

「おばあちゃん子」だった私は、お年寄りの役に立ちたいと思い、介護の道に進みました。この仕事に従事して18年、家庭では二児のママとして育児に励んでいます。介護の仕事は、患者さんやその家族から「ありがとう」の感謝を直接言葉でいただきたり、患者さんが元気になっていく姿を近くで感じたりと、たくさんの喜びがあります。また、医師や看護師とのカンファレンスで患者さんの情報を共有し、個別ケアを提供できることにやりがいを感じます。さらに、新病院になって病棟内に機械浴が設置されたことにより、私達が中心となって保清ケアを実践できる事ができ、ますます自身の仕事への誇りを感じます。

1日勤務したあとは少し疲れも出ますが、保育園にかわいい子供たちを迎えて行き、当たり前の日常の1日を穏やかに過ごすことが幸せだと感じています。



おかなみ出前講座

お申し込み、お問い合わせは、岡波総合病院
地域医療連携室(直通電話0595-21-3154)まで。

令和6年6月3日 上野商工会議所様

テーマ 寝たきりにならないための基礎知識
講 師 作業療法士 山内雅之



令和6年6月6日 百合ヶ丘まちの保健室様

テーマ 寝たきりにならないための基礎知識
講 師 作業療法士 山内雅之



令和6年6月28日 山出老人クラブ様

テーマ 正しく知ろう認知症
講 師 認知症看護認定看護師 城井田浩二



令和6年7月9日 上野南部地区住民自治協議会様

テーマ 心臓と脳の病気～予防方法を知ろう～
講 師 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 東雲洋美
慢性心不全看護認定看護師 林愛希仁



令和6年7月11日 いきいきサロン白藤会様

テーマ 病気は「治す」より「ならない」がいい！
講 師 看護師 谷口育代・中嶋香織



令和6年7月12日 ライトピアおおやまだ様

テーマ むくみとの上手なつき合い方
講 師 がん専門看護師 中滉子



令和6年7月17日 センターランドおしゃべり会様

テーマ 自宅でできる膝・腰の体操
講 師 理学療法士 東真衣・岩崎裕子



令和6年8月6日 花垣地区住民自治協議会様

テーマ がんになりにくい日常生活って何？
講 師 がん専門看護師 中滉子



令和6年8月7日 緑ヶ丘南町第1自治会おしゃべりサロン様

テーマ バランスのよい食事・骨粗鬆症予防
講 師 管理栄養士 西田葵・見瀬真由美



令和6年8月22日 お元気クラブ(いきいきサロン)様

テーマ 自宅でできる膝・腰の体操
講 師 理学療法士 前川拓也・中尾開登



令和6年8月27日 いきいきサロン睦友会様

テーマ 人生最期の時、何を大切にしたいですか？
～「もしさなゲーム」を通して一緒に考えましょう～
講 師 がん専門看護師 中滉子

